

## 長寿を祝う

いついつまでもお元気で

### 四会場で敬老会

○おとしよりを敬まい慰める敬老会が、ことしも村主催で、九月十三日の一之  
○瀬地区を皮切りに十四日中川地区、十五日内城田地区、十六日小川郷地区と○  
○四日間、それぞれの会場で、七〇才以上のおとしよりを招いて行なわれた。○

台風二十四・二十五の前ぶ 元気なおとしよりで一ぱい。  
れで、あいにくの雨模様のため、今年米寿になられた岡村と  
気が続いたが、どの会場も、 ちさん(棚橋) 竹村仙助さん



村からの記念品を手に、うれしそうなおとしよりのたち

(長原) 西山吉三さん(小川)に三重県知事からの記念品が伝達されたあと、村から記念品のぞうりと菓子が贈られ、大野村長が、長寿のお祝いを述べ、百才まで生きぬいて下さいと、力強くあいさつし、万歳を三唱して式は終わった。

このあと、小中学生や保育所の園児らによる演芸、婦人会のおどり、それに村職員で構成するW楽団の演奏など、盛り沢山の演芸でおとしよりを慰めた。

また、明高度会分枝全健会(会長上村政夫君)は、なにかの役に立てて下さいと、夏休みに全校生徒が作った、ツエヤ、まいかけ、たすきなど二百余点の作品を、出席のおとしよりに贈り、みんなから喜ばれた。

ことしの七〇才以上の方は五三八名、最年長は男では世古幸太郎さん91才(鮎川)女では、山北さかさん98才(平生)

## 忘れずに ボクも書いてね 国勢調査

十月一日は国勢調査です。この調査は、みなさんに記入していただくものです。調査員がお配りした調査票に正しくご記入下さい。

大正九年に始められて、ことごとに行なわれているこの国勢調査は、国のもっとも基本的な統計調査です。

十月一日に調査員が調査票を集めに伺います。みなさんのご協力をお願いします。

〔調査員の方々〕  
△注連指 中井利正、上村忠平 △田口 山根寿、徳田守 △

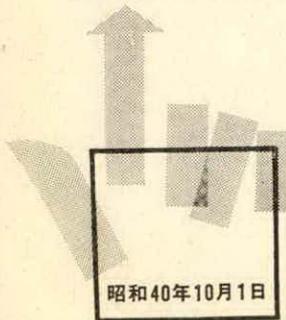
調査員がお配りした調査票に正しくご記入下さい。

大正九年に始められて、ことごとに行なわれているこの国勢調査は、国のもっとも基本的な統計調査です。

十月一日に調査員が調査票を集めに伺います。みなさんのご協力をお願いします。

〔調査員の方々〕  
△注連指 中井利正、上村忠平 △田口 山根寿、徳田守 △

## 国勢調査



昭和40年10月1日

9月定例村議会

農協合併助成金交付条例案など可決

議長に清水氏、副議長 岡山氏きままる



本会議で答弁する大野村長

- ▽第三次定例村議会は、九月二十一日村議会議場に招集され、会期四日間にわたって開かれた。
- ▽上程された議案は、昭和四十年年度会村一般会計第二回補正予算案をはじめ、度会村農業協同組合併助成金交付に関する条例案や条例の一部改正案など十議案
- ▽で、審議の結果、否決された「度会村教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に關する条例案」を除く全議案を原案どおり可決し、つづいて病氣のため辞職された作野議長と一身上の都合により辞職された上村副議長の後任を選挙の結果、議長に清水菊三氏、副議長に岡山彦二氏が選ばれた。



清水議長

▼昭和四十年年度会村一般会計第二回補正予算案  
百九十六万一千円を追加し  
予算総額八千二百八十六万  
一千円とする。

おもなもの○当津地内川南  
線工事の廃工で工事請負費七  
百余万円の減額○平生地内村  
道改良（一部新設）工事とし

可決された議案



岡山副議長

▼度会村農協合併助成金交付  
昭和四十年年度において農業  
協同組合併助成法に基く農  
業協同組合の合併を行なう場  
合、合併を行なう組合に対し  
国が認めた欠損金の五〇％を  
村費で補助するもの。（国庫  
補助は四〇％）

▼度会村報酬および費用弁償  
等に関する条例の一部を改  
正する条例案

農業委員が総会または部会  
に出席した場合、年報酬とは  
別に出席手当（一日五百円）と  
車馬賃（実費）を支給するもの

▼度会村火災予防条例の一部  
を改正する条例案

消防法の改正により条例の  
一部を改正するもので、危険  
物等の貯蔵、取扱基準などに

て工事請負費三百五十万円を  
追加○県道改良事業特別会計  
への繰入金として二百万円追  
加○県道改良事業基金の設置  
による積立金五十万円追加

▼教育委員会委員の任命につ  
いての同意

九月三十日で任期満了の教  
育委員岡野幸一郎氏を再選

違反した場合の罰金の額が引  
き上げられたもの。

▼専決処分の承認を求めるこ  
とについて

村民税の課税方式を本文方  
式としたための減収分を補う  
減税はてん債が認められ、当  
初予算で四十八万円計上、そ  
の後九十万円に引き上げられ  
たため、四十二万円の追加補  
正を専決処分したので、承認  
を求めたもの。

▼昭和四十年年度会村民健  
康保険特別会計第一回補正  
予算案

五十七万二千円の追加で予  
算総額は、二千九百八十七千  
円となった。

急施村議会

当津地内の林道工事を廃工

八月二十六日開会  
の急施村議会は、昭  
和四十年年度で施行予  
定の当津地内の川南線山村振  
興林道工事について審議した  
結果、本年度において起工し  
ないことを議決した。

この工事は、昭和三十八年  
度から三十九年計画で開発が進  
められているもので、すでに  
立花から茶屋広まで橋梁を含  
めた八五〇が完成。

本年度は、茶屋広、当津間  
約三百以（浦の井橋架橋工事  
を含む）を、国庫補助と村費  
（当初予算に七百余万円計  
上）で施行する計画で、当津  
区の同意を得るため村議会在  
七月二十八日以来一カ月余に  
わたり解決に努力したが、そ  
の努力も水泡に帰し、地元当  
津区の心よい回答が得られな  
かったため、やむなく廃工と  
なったもの。

▼度会村県道改良事業基金の  
設置、管理及び処分に関す  
る条例案

県道改良事業を円滑に行な  
うため基金制をとったもので  
基金の額は五十万円。

▼昭和四十年年度会村県道改  
良事業特別会計第一回補正  
予算案

百万円追加、予算総額は一  
千七十二万四千円。

▼度会村教育委員会教育長の  
給与および勤務時間等に關  
する条例（昭和三十一年度会村  
条例第21号）を廃止する条  
例案

教育長の給与が給料制と報  
酬制の二本建てで定められて  
いた。これは、むじゅんして  
いるため廃止した。

# 台風24号

## 大きかった農作物の被害

九月十日に本土に上陸した台風23号、それに追い打ちをかけるように本土を襲った24号、25号は各地で猛威をふるった。ことに志摩半島をかすめ、東北を縦断した24号は、各地に大きなツメ跡を残していったが、度会村内でも河川や農作物にかなりの被害をうけた。

この台風は、前ぶれの豪雨がひどかったが、本庁の雨量計は、一七〇ミリの雨量を示し、宮川や一之瀬川が近年にない増水で流域の耕地五〇ヘクタールが冠水したほか、河川の決壊や橋梁の流失などが目立った。刈り取りを前にしていただけに、冠水、倒伏の被害は大きく、長原地内の北園地区などでは、水田一面がゴミと流木で埋り、稲の姿が見えないところもあり、手のつけられないありさまだった。また、桑も泥などをかぶり



決壊した田んぼ (注連指で写す)

の被害総額は一、二〇〇万円にもなった。村では、関係機関にその状況をいち早く報告し、河川などの災害復旧を陳情している。



ゴミや、流木で稲もめちやめちや (長原で写す)

また、桑も泥などをかぶり、晩秋蚕の最中のため、大きな痛手をこうむった。村振興課がまとめた農林業の被害総額は一、二〇〇万円にもなった。村では、関係機関にその状況をいち早く報告し、河川などの災害復旧を陳情している。

### 改正された道路交通法

#### 運転免許の種類などかわる

九月一日から実施

道路交通法の一部が改正され、九月一日から、運転免許の種類の変更や、二輪車の場合、ヘルメットの着用義務、二人乗りの禁止、速度の改正などが実施されています。

おもな改正点は次のとおり  
(運転免許の種類の変更)  
◎四輪の自動車(けん引自動車および軽四輪自動車)と三輪の自動車(自動三輪車および軽三輪車)の種別が一本になって、その車体の大きさなどにより「大型自動車」「普通自動車」の二種類となり、その運転免許も「大型免許」「普通免許」となった。

◎二輪の自動車(自動二輪車)および二輪の軽自動車と第一種原付自転車の種別が一本になって「自動二輪車」となり、その運転免許が「二輪免許」となった。

◎この改正で、三輪、軽四、軽三免許は普通免許となり、第二種原付、軽二免許は二輪免許となったが、運転できる車は、公安委員会の行なう審査に合格するまでは、従前の車に限定される。

△速度の改正) カッコ内は旧  
△大型・乗用 六〇(五〇)キ、貨物 五〇(五〇)キ  
△普通 六〇(五〇)キ(十一人

以上乗用六〇(十人以下乗用六〇)キ、貨物五〇(自動三輪四〇)キ、軽三・四輪四〇(自動二輪・二五〇)キをこえるもの 六〇(六〇)キ(四〇)キ、第二種原付 五〇(四〇)キ、△第一種原付 三〇(三〇)キ、△小型特殊 一五(一五)キ  
(二輪車用ヘルメットの着用義務)  
自動二輪の運転者は、高速道路および自動車専用道路を運行するときは、乗用車用ヘルメットを着用しなければならない。また同乗者も同じ。

#### ○改正前に免許を受けたものが運転できる自動車

免許の種類	運転できる自動車の種類
大型	大型、普通、自二、原付、小型特殊、軽
普通	普通、自二、原付、小特、軽
大型 限定あり	大特、自二、原付、小特、軽
特殊 限定なし	大型、普通、大特、自二、小特、軽 750kgをこえる車両をけん引できる
自動三輪	(1)審査合格者は、普通、自二、原付、小特、軽 (2)審査未了者は、自三、自二、原付、小特、軽
自動二輪	自二、原付、小特、軽
軽自動車	自二、原付、小特
第二種原付	自二、軽、原付、小特 (1)審査合格者自二、原付、小特 (2)審査未了者従前の第二種原付小特
第一種原付	原付
小型特殊	小特

#### ○9月1日以降に免許を受けたものが運転できる自動車

免許の種類	運転できる自動車の種類
大型	大型、普通、軽、小特、原付
普通	普通、軽、小特、原付
大型特殊	大特、小特、原付
けん引車	750kgをこえる被けん引車両をけん引するとき旅客用車両を運転できない。
自動二輪	自二、小特、原付
軽自動車	軽、小特、原付
原付	原付
小型特殊	小特

# 県議会土木常任委一行が来村

## 砂利採取の現地視察

県議会土木常任委員会の岡本倉市委員長ほか十名の委員と、地元選出県議ら一行が、八月二十五日、宮川の砂利採取状況を視察のため来村、午前中、村庁舎二階で大野村長や村議会砂利対策委、教育委員、漁業組合代表らから実情を聞き、午後、各採取現場を見て回った。

これは、村内の河川の砂利採取許可を、県が村の実情を無視して一方的に許可するため、道路の損傷や児童の通学問題など、村の行政に大きく響くことが多いため、採取許可をする場合、事前に村の意向を聞いてほしいと、七月の定例県議会に度会村が陳情していたもの。

県議会では、この問題を取り上げ、さっそく今回の土木常任委員会の現地視察となっ

### 岡野幸一郎氏

#### 教育委員に再選

九月三十日で任期満了の教育委員岡野幸一郎氏は、九月定例村議会で再び選任された。

昭和二十一年三重県北牟婁地方事務所を退職、その後は農業に従事、その間、昭和三十年に公選教育委員、昭和三十六年教育委員に任命され現在に至る。

(長原、六二才)



砂利採取現場を視察する県議会土木常任委一行

たものだが、現地を見て回った。これはひどいと、もらして一行は、砂利を満載したダンプカーが、土煙りを上げて疾走するなかを、少さくなく通行する児童たちを見て、

た。これはひどいと、もらして一行は、砂利を満載したダンプカーが、土煙りを上げて疾走するなかを、少さくなく通行する児童たちを見て、

た。これはひどいと、もらして一行は、砂利を満載したダンプカーが、土煙りを上げて疾走するなかを、少さくなく通行する児童たちを見て、

取は、需要の増大で近年ますます盛んなため搬出のダンプカーの通行がひんばんで、狭い県道や村道の通行は、いろいろな面に問題をおこしている。  
①住民の通行や、学童の通学に危険。  
②村道の損傷がひどい。  
③農作物、人家がほこりをかぶる。  
④騒音で学校の授業が妨げられる。  
⑤地区の利害が反する場合、紛争がおこるなど。この問題の解決のため、砂利採取の許可をする場合、事前に村に協議してほしい。

## 異動のときはすぐ手続きを —国民年金の届出—

国民すべてに年金をと、昭和三十六年四月に国民年金制度が始まって五年目現在度会村ではこの国民年金(拠出制)に約二、七〇〇人が加入していき、とここで、この国民年金(拠出制)の被保険者が資格を取得したときや、資格を失ったとき、あるいは、氏名、住所を変更したときの手続きが、まだまだ完全になされていないようです。

- ▲資格取得届(二十日以内)
  - 満二十才になったとき。
  - 被用者年金の被保険者や組合員でなくなったとき。
  - 公的年金をうけられなくなったとき。
- ▲資格喪失届(二十日以内)
  - 公的年金の被保険者や組合員となったとき。
  - 公的年金をうけられるようになったとき。
  - 被用者年金の被保険者や組合員の配偶者となったとき。
  - 公的年金をうけられる人の配偶者となったとき。
  - 大学などの学生となったとき。
  - 学生でなくなったとき。
  - ▲資格喪失届(二十日以内)
    - 公的年金の被保険者や組合員となったとき。
    - 公的年金をうけられるようになったとき。
    - 被用者年金の被保険者や組合員の配偶者となったとき。
    - 公的年金をうけられる人の配偶者となったとき。
    - 大学などの学生となったとき。
    - 学生でなくなったとき。

おばあさんの、いれば

内城田小学校四年 藤田 卓

朝おきて、ごはんを、くおろとした。

「かおを、あろてこい。」とおとうさんが、にらんだ。

ぼくは、しかたなくいどばたに、行った。

おばあさんが、はを、みがいている。

いればを、とっている。

口にしわがよってさるのような、かおをしている。

みちがえるような、かおだ。

花とわたし

内城田小学校三年 松井 千鶴

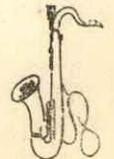
わたしたちの学校には、きれいな花が、いろいろとならんでさいています。

はたから見ると、遠くから見る方が、きれいに見えま

す。

げんかんの前の花だんには

こどもの広場





# 広報板

## 狂犬病予防注射と

### 畜犬登録のお知らせ

ことし第2回目の狂犬病予防注射を次のとおり行ないますから、必ず受けて下さい。

なお、予防接種終了した後、野犬捕獲を行ないますから、4月に畜犬登録をしなかった犬や生後91日に達した犬は、登録もあわせてして下さい。

#### 〔料金〕

予防注射手数料	200円
メタル交付手数料	30円
登録手数料(未登録犬のみ)	300円

#### 〔日程〕

10月13日(10時~12時)  
第一連絡所、同日(1時30~3時)第四保育所  
10月14日(10時~12時)高道医院、同日(1時30~3時)役場

### インフルエンザの予防接種

インフルエンザの流行期が近づいたので村では、予防対策として、インフルエンザ予防接種を、10月中旬ごろから行ないます。

接種希望の方は近日区長さんを通じて希望を取りまとめますから、お申し込み下さい。

#### 〔接種料金〕

△生後3カ月~1才未満(50円) △1才以上~6才未満(70円) 6才以上~15才未満(90円) △15才以上(110円)

なお、小中学校の児童生徒および保育所園児は、それぞれの小中学校、保育所で希望を取りまとめます。

### 母子検診のお知らせ

10月の母子検診は次のとおり。

〔乳幼児検診〕 いずれも2時。

10月1日中川小学校、8日母子健康センター  
15日一之瀬診療所、22日第四保育所

〔妊産婦検診〕 いずれも2時

母子健康センターにて

6日・13日・20日・27日

母子手帳をお忘れなく。

読書よりも教えられることが多かった母の話。その母が亡くなってしまうと今、あの物覚えのよかった母、そしてたくましく健康だった母。白い絹糸でまいたようなあの頭、ちりめんのように細いしわのあった母の童顔。  
生活改善のグループから揭示している歌。世の中に百万の母あれどわが母にまさる母はありなん。  
とありましたのを今くり返しています。



佳作に入賞した浦田さん(左)と北口さん

三重県が、県下の小、中高等学校から募集した「防災思想普及宣伝ポスター」に、中学の部で、本村の浦田早苗さん(小川郷中三年)と北口明美さん(同)が、そろうて佳作に入賞、九月一日の「防災の日」に三重県知事からの表彰状と記念品が伝達された。

## 小川郷中の浦田早苗さんと北口明美さんが

### 佳作に入賞

県防犯思想普及ポスター

## みんなの

### 声



#### 老人の日をむかえて亡き母をしのぶ

長原 森本こいそ

ことしも九月を迎えてすぐ老人の日を思い出す。

私の母も毎年くるこの老人の日をどんなに楽しみに待っていたことか、あの九十五才の童顔が目につかぶ。この母が、去る八月十六日の朝を最後に、この世を去ってしまいました。この世に生を受けてななそじを迎えるだけでもなかなかであるのに、九十五才

まで無事で生きぬいてくれたことは、子として、誇りをもって毎年老人の日をよるこんで迎えておりました。しかし、ことしのこの九月は淋しく老人の日を迎えることも、在りし日の老母のことのいろいろの思い出にふけるのであります。

母は、明治三年に、稲葉家の一粒種として生れました。姓名は……たね……でした。男児二人、女児五人の子宝に恵まれて人一倍健康な子どもたちでしたが、大正八年長男が現役入隊直後当時流行した悪性流行性感冒で高熱の中で

久居の連隊の病舎で急死、その感染で他家に嫁していた姉二人が引続いて死去、わずかに一月たらずのうちに立派に育て上げた愛児を三人まで亡くしてしまつたのです。私はまだ十才でしたが、毎日呆然として床に横たっている母の傍で泣きつづけてました。祖父が人間は、一生のうちには、何かの苦勞を味わねばならないのだ。今こそその大きな試練を受けたのだ。くよくよしな

変、支那事変に召されて、ついに中文で戦死を遂げました。あの時、母はどんなに悲しんだことか、母とおなじように子を持つ母としての私には、もう筆で現すことはできません。  
去る終戦を迎えた頃、母はこんなに子どもを失いたくないで、どこかへ旅行でもして速く気を取戻して下々の子らのためにがんばれと、悲しみをかき消して父と母を東京の平和博覧会見物に旅立って東京に滞在していた十五日間を私は、淋しく待っていたことを覚えてい

大きな試練をのりこえて家業に励み残った四人の幼児を育て上げ、どうやら、上の子らを亡くした悲しみが忘れられようとした時、一人の男児かけかえのない弟が、満州事

も役に立つことも多く、読書よりも教えられることが多かった母の話。その母が亡くなってしまうと今、あの物覚えのよかった母、そしてたくましく健康だった母。白い絹糸でまいたようなあの頭、ちりめんのように細いしわのあった母の童顔。